

## 2 調査結果概要

### (1) 共通設問の傾向

表1：介護者の状況（誰から介護を受けているか、受けていたか）

	未利用者		居宅利用者		施設利用者	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
配偶者	64	29.5	150	29.1	20	13.9
子	54	24.9	168	32.6	55	38.2
子の配偶者	18	8.3	32	6.2	12	8.3
兄弟・姉妹	6	2.8	6	1.2	3	2.1
その他の家族・親族	3	1.4	5	1.0	5	3.5
家族・親族以外	8	3.7	55	10.7	16	11.1
介護は受けていない	50	23.0	78	15.1	40	27.8
無回答	32	14.7	29	5.6	1	0.7
回答者数	217	—	515	—	144	—

介護者の状況としては、すべての区分において「配偶者」及び「子」から介護を受けている方が多くなっていますが、未利用者では、「介護は受けていない」と回答した方が同程度います。また、前回のアンケートと比較すると、未利用者及び居宅利用者において、「配偶者」から介護を受けている方が増加しています。

### (2) 満足度等の調査

利用しているサービス、ケアマネジャーやケアプラン、施設担当職員の対応、施設での生活に対する感想、満足度等について比較します。

表2：利用しているサービスの満足度

	居宅利用者		施設利用者	
	回答数	%	回答数	%
満足している	241	46.8	69	47.9
おおむね満足している	183	35.5	59	41.0
どちらでもない	24	4.7	3	2.1
やや不満である	11	2.1	5	3.5
不満である	5	1.0	1	0.7
無回答	51	9.9	7	4.8
計	515	100	144	100

利用しているサービスの満足度では、「満足している」が居宅利用者では46.8%、施設利用者では47.9%の方が「満足している」と考えており、「おおむね満足している」を加えると居宅利用者では82.3%、施設利用者では88.9%と、前回のアンケートと同様に多くの方の満足度が高くなっています。しかしながら、「やや不満である」、「不満である」と感じている方も3%程度います。

表3：ケアプランやケアマネジャー・施設の担当職員の対応

	居宅利用者		施設利用者	
	回答数	%	回答数	%
満足している	256	49.7	91	63.2
おおむね満足している	179	34.7	42	29.2
やや不満	23	4.5	2	1.4
不満	10	1.9	0	0.0
どちらともいえない	6	1.2	3	2.1
無回答	41	8.0	6	4.1
計	515	100	144	100

現在のケアプランやケアマネジャーの対応では、居宅利用者において「満足している」と「おおむね満足している」を合わせると84.4%、施設の担当職員の対応については92.4%と、前回のアンケートと同様に多くの方の満足度が高くなっています。しかしながら、居宅利用者において「やや不満である」、「不満である」と感じている方が前回のアンケートより若干増加し、6.4%います。

### (3) サービスの利用状況・利用効果

介護サービスを利用している方のサービスの利用状況とサービス利用後の効果、入所後の変化について考察します。

表4：利用しているサービスの種類（複数回答）

	居宅利用者	
	回答数	%
訪問介護	151	29.3
訪問看護	52	10.1
訪問入浴介護	29	5.6
訪問リハビリテーション	17	3.3
通所介護	145	28.2
通所リハビリテーション	136	26.4
居宅療養管理指導	19	3.7
住宅改修	51	9.9
短期入所生活介護	44	8.5
短期入所療養介護	6	1.2
福祉用具の購入	76	14.8
福祉用具の貸与	178	34.6
小規模多機能型居宅介護	11	2.1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	1.7
無回答	61	11.8
回答者数	515	—

居宅利用者が利用しているサービス種別は、「福祉用具の貸与」が最も多く34.6%で、通所系サービスは合計で56.7%、訪問系サービスは50.0%となっています。通所系、訪問系のサービスが同程度となっています。

表5：利用後の効果（複数回答）

	居宅利用者	
	回答数	%
身体が軽くなって動くのが楽になった	67	13.0
人と会話する機会が多くなり、日常生活に張りが出てきた	193	37.5
外出する機会が増えて、日常生活に張りが出てきた	79	15.3
家族の介護時間が少なくなり、家庭内が少し明るくなった	71	13.8
家で生活することに意欲的になった	52	10.1
介護者がいることによって、安心して生活できるようになった	186	36.1
以前とほとんど変わらない	62	12.0
その他	18	3.5
無回答	78	15.1
回答者数	515	—

居宅利用者の利用後の効果では、「人と会話する機会が多くなり、日常生活に張りが出てきた」、「介護者がいることによって、安心して生活できるようになった」という回答が多い一方、「以前とほとんど変わらない」と感じている方も12.0%います。多くの方が、利用後の効果があると回答しており、おおむね前回のアンケート結果と同様の傾向となっています。

表6：入所生活後の効果（複数回答）

	施設利用者	
	回答数	%
生活が規則正しくなった	77	53.5
生活や気持ちに張りが出た	27	18.8
気持ちが前向きになった	18	12.5
気苦労が減った	37	25.7
以前とほとんど変わらない	24	16.7
その他	17	11.8
無回答	11	7.6
回答者数	144	—

表7：入所生活での楽しみ（複数回答）

	施設利用者	
	回答数	%
家族などの訪問	75	52.1
入所者同士の交流	41	28.5
施設職員との交流	44	30.6
散歩や買い物などの外出	37	25.7
趣味や学習などの活動	32	22.2
食事や入浴	62	43.1
その他	8	5.6
無回答	11	7.6
回答者数	144	—

施設利用者の入所生活後の効果、入所生活での楽しみについても前回のアンケート結果と同様に、「生活が規則正しくなった」、「気持ちが前向きになった」など、ほとんどのの方が良い変化を感じており、「家族などの訪問」を楽しみにしている生活がうかがえます。

#### (4) 介護保険料・サービス利用料金の負担

介護保険料やサービス利用料金等経済的な負担について考察します。

各調査においての共通設問「あなたが負担している介護保険料について」の結果を表8に記載しています。

表8：介護保険料の負担について

	未利用者		居宅利用者		施設利用者	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
負担が多い	47	21.7	82	15.9	7	4.8
やや負担である	47	21.7	127	24.6	27	18.8
適当な額である	41	18.9	161	31.3	52	36.1
負担が少ない	3	1.4	6	1.2	0	0.0
わからない	45	20.7	67	13.0	53	36.8
無回答	34	15.6	72	14.0	5	3.5
計	217	100	515	100	144	100

未利用者では「負担が多い」と「やや負担である」が同数、居宅利用者及び施設利用者では「適当な額である」が最も多くなっており、サービスの利用状況により負担感に差異がみられます。

また、前回のアンケート結果と比較すると、「適当な額である」と回答した方の割合が、未利用者では14.4%から18.9%、居宅利用者では29.0%から31.3%、施設利用者では33.0%から36.1%となっており、いずれも増加しています。

表9：介護サービス利用料金

	居宅利用者	
	回答数	%
自己負担額が多いので、サービスを少なくしている	59	11.5
自己負担額は多いが、サービスを制限していない	70	13.6
自己負担額に関係なく、必要なサービスを利用している	243	47.2
自己負担額が多くないので、サービスを増やしている	9	1.7
その他	23	4.5
無回答	113	21.9
回答者数	515	—

表10：施設のサービス利用料金

	施設利用者	
	回答数	%
高い	4	2.8
やや高い	18	12.5
妥当	63	43.8
やや安い	2	1.4
安い	4	2.8
わからない	44	30.5
無回答	9	6.2
計	144	100

サービス利用料金については、居宅利用者では、「自己負担額に関係なく、必要なサービスを利用している」が47.2%で最も多く、施設利用者では、「妥当」が43.8%で最も多くなっています。

前回のアンケートとおおむね同様の傾向となっていますが、施設のサービス利用料金について「妥当」と感じる方が、48.5%から43.8%、「高い」及び「やや高い」と回答した方も合計で20.0%から15.3%といずれも減少し、「わからない」と回答した方が25.5%から30.5%に増加しています。

#### (5) 現在の生活における困りごとと今後の生活に対する希望と不安

現在の生活における困りごとと今後の生活に対する希望と不安について考察します。

表11に現在の生活における困りごと、表12、13に未利用者、居宅利用者、施設利用者の今後の生活に対する希望、表14に未利用者、居宅利用者の今後の生活に対する不安を記載しています。

表11：現在の生活における困りごと（未利用者、居宅利用者）

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
食事の用意	59	27.2	168	32.6
買い物	84	38.7	190	36.9
洗濯	23	10.6	112	21.7
室内の掃除	48	22.1	158	30.7
家のまわりの掃除	59	27.2	143	27.8
庭の草とり	85	39.2	173	33.6
冬場の雪かき	129	59.4	201	39.0
ゴミ出し	43	19.8	96	18.6
通院	79	36.4	191	37.1
無回答	44	20.3	136	26.4
回答者数	217	—	515	—

未利用者、居宅利用者ともに「冬場の雪かき」と回答した方が最も多くなっています。

他には「買い物」、「通院」、「庭の草とり」といった定期的に外出する必要があるものや特に体への負担が大きいものを回答した方が多い結果となりました。

表12：今後の生活に対する希望（未利用者、居宅利用者）

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
自宅で自立した生活を送りたい	79	36.4	114	22.1
自宅で家族の介護を受けながら生活を送りたい	43	19.8	112	21.7
自宅で介護サービスを受けながら生活を送りたい	46	21.2	152	29.5
自宅で訪問診療を受けながら生活を送りたい	26	12.0	29	5.6
介護施設に入所して介護を受けながら生活したい	27	12.4	67	13.0
状況に応じて施設と自宅を行き来しながら生活したい	23	10.6	73	14.2
その他	7	3.2	10	1.9
無回答	35	16.1	78	15.1
回答者数	217	—	515	—

表13：今後の生活に対する希望（施設利用者）

	施設利用者	
	回答数	%
自宅へ戻り、自立した生活を送りたい	11	7.6
自宅へ戻り、家族の介護を受けながら生活を送りたい	10	6.9
自宅へ戻り、介護サービスを受けながら生活を送りたい	9	6.3
自宅へ戻り、訪問診療を受けながら生活を送りたい	5	3.5
今の施設で生活したい	100	69.4
他の施設に移りたい	3	2.1
その他	3	2.1
無回答	5	3.5
回答者数	144	—

未利用者、居宅利用者ともに、自宅での生活を希望する回答が多くなっており、在宅での生活を希望する傾向が強くなっています。一方で、「介護施設に入所して介護を受けながら生活したい」、「状況に応じて施設と自宅を行き来しながら生活したい」と考えている方も、一定程度います。

施設利用者では「今の施設で生活したい」が7割近くで最も多く、それぞれの調査において、サービスの利用の有無に関係なく、現在の場所で生活し続けたいという傾向があります。

全体的にはおおむね前回のアンケートと同様の傾向となっています。

表14：今後の生活に対する不安（複数回答）

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
緊急時の対応	99	45.6	200	38.8
健康のこと	115	53.0	283	55.0
経済的なこと	57	26.3	134	26.0
地域との関わり合いのこと	5	2.3	26	5.0
日常生活のこと（食事、掃除、洗濯等）	63	29.0	134	26.0
訪問診療のこと	11	5.1	16	3.1
訪問歯科診療のこと	10	4.6	19	3.7
服薬の管理	19	8.8	47	9.1
看取りのこと	12	5.5	49	9.5
特に不安はない	14	6.5	43	8.3
その他	3	1.4	13	2.5
無回答	33	15.2	70	13.6
回答者数	217	—	515	—

未利用者、居宅利用者の方の多くが、「健康のこと」、「緊急時の対応」について不安を感じています。他に「経済的なこと」、「日常生活のこと（食事、掃除、洗濯等）」の割合が多くなっています。回答した割合が高い項目は、前回のアンケートと同様の傾向となっています。

## （6）介護保険制度へのご意見

介護保険制度へのご意見について考察します。

表15：介護保険制度へのご意見

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
介護保険料負担は増えてもサービス事業所を増設してほしい	15	6.9	22	4.3
介護保険料負担の抑制を第一に考えてほしい	54	24.9	125	24.3
自宅での生活を続けられるよう介護サービスを増やしてほしい	72	33.2	120	23.3
自宅での生活を続けられるよう医療サービスを増やしてほしい	38	17.5	77	15.0
費用が高くても認知症に対応した通いの施設を整備してほしい	9	4.1	21	4.1
高齢者が安心して暮らせる住環境の整備をしてほしい	59	27.2	125	24.3
介護従事者の質を高めてほしい	12	5.5	53	10.3
介護保険の苦情・相談窓口を充実してほしい	12	5.5	19	3.7
介護を必要としないための介護予防事業を充実してほしい	18	8.3	35	6.8
その他	4	1.8	16	3.1
無回答	55	25.3	112	21.7
回答者数	217	—	515	—

未利用者、居宅利用者ともに、「介護保険料負担の抑制を第一に考えてほしい」、「自宅での生活が継続できるようなサービスを増やしてほしい」、「高齢者が安心して暮らせる住環境の整備をしてほしい」の3項目が多くなっています。

特に、「介護保険料負担の抑制を第一に考えてほしい」は24%を超えていますが、その一方で、「介護を必要としないための介護予防事業を充実してほしい」、「介護保険料負担は増えてもサービス事業所を増設してほしい」と考えている方も7%程度います。

## (7) ご家族の状況、ご意見等

ご家族の状況、ご意見等について考察します。

未利用者と居宅利用者のご家族に対し、ご本人の代わりにご家族の方がアンケートを記入している場合にご回答いただきました。

表16：ご家族の年齢について

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
39歳以下	3	2.3	3	0.9
40～64歳	50	38.5	131	41.3
65～74歳	26	20.0	78	24.6
75歳以上	51	39.2	101	31.9
無回答	0	0.0	4	1.3
計	130	100	317	100

表17：家族を介護することの負担について

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
大いに感じている	53	40.8	100	31.5
やや感じている	46	35.4	133	42.0
あまり感じていない	16	12.3	56	17.7
まったく感じていない	4	3.1	12	3.8
無回答	11	8.4	16	5.0
計	130	100	317	100

表18：どのようなことに負担を感じるかについて（複数回答）

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
食事・入浴・排せつなどの介護	40	30.8	76	32.8
仕事に影響が出る	24	18.5	38	16.4
介護と家事の両立	28	21.5	60	25.9
経済的なこと	28	21.5	47	20.3
外出時の付添い・送迎	43	33.1	71	30.6
自分自身に健康上の不安を抱えていること	49	37.7	106	45.7
親族の理解や協力が得られない	12	9.2	23	9.9
地域で介護の協力者や相談相手がない	13	10.0	14	6.0
認知症状などによる言動への対応	30	23.1	47	20.2
医療面での対応（経管栄養、人工肛門、人工膀胱など）	1	0.8	4	1.7
自分の時間がない	17	13.1	52	22.4
その他	7	5.4	9	3.9
無回答	20	15.4	7	3.0
回答者数	130	—	232	—



表19：介護する負担を軽減する方法について（未利用者）

	未利用者	
	回答数	%
紙おむつの給付サービスを利用	6	4.6
夕食の宅配サービスを利用	17	13.1
悩み事を相談員に相談している	14	10.8
医療デイケアを利用している	21	16.2
その他	23	17.7
無回答	57	43.8
計	130	—

表20：介護する負担を軽減する方法について（居宅利用者）

	居宅利用者	
	回答数	%
ショートステイを利用している	61	19.2
デイサービスを利用している	162	51.1
ホームヘルパーを利用している	59	18.6
医療デイケアを利用している	11	3.5
その他	43	13.6
無回答	51	16.1
計	317	—

介護することに負担を感じているという回答は、未利用者のご家族で76.2%、居宅利用者のご家族で73.5%となっており、前回のアンケート結果（未利用者68.9%、居宅利用者79.5%）と比較して増減はあるものの、多くのご家族が介護することに負担を感じている結果となっています。

どのようなことに負担を感じるかという質問に対しては、未利用者、居宅利用者のご家族ともに、自分自身の健康に不安を感じている方が最も多く、アンケートにお答えいただいたご家族の半数以上が65歳以上ということもあり、依然として老老介護の問題が懸念されます。

また、「食事・入浴・排せつなどの介護」、「外出時の付添い・送迎」と回答した方も多く、日常生活を送るうえでの介護に負担を感じている方が多い状況です。「認知症状などによる言動への対応」に負担を感じている方もおり、認知症に対する正しい理解や対応などの普及・啓発を継続していく必要性があると考えられます。

介護する負担を軽減する方法については、未利用者では「医療デイケアを利用している」、居宅利用者では「デイサービスを利用している」という回答が多く、送迎があり、事業所数もある程度確保されていることが要因であると考えられます。

表21：ご家族の休息について

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
休息が取れていると思う	44	33.9	103	32.5
休息が取れていると思わない	45	34.6	124	39.1
わからない	29	22.3	60	18.9
無回答	12	9.2	30	9.5
計	130	100	317	100

ご家族の休息については、未利用者のご家族で34.6%、居宅利用者のご家族で39.1%の方が「休息が取れていると思わない」と回答しており、前回のアンケート結果（未利用者29.3%、居宅利用者44.4%）と比較すると未利用者では増加し、居宅利用者では減少しています。依然として日常介護で問題とされている「介護疲れ」の問題が懸念されます。

表22：介護負担の軽減についてのご家族の意見

	未利用者		居宅利用者	
	回答数	%	回答数	%
気軽に利用できるショートステイを充実してほしい	33	25.4	103	32.5
緊急時にすぐ対応できるような、在宅の介護保険のサービスを充実してほしい	36	27.7	94	29.7
費用が高くても、認知症に対応した通いの施設を充実してほしい	7	5.4	15	4.7
家族での介護が難しいので、特別養護老人ホームなど施設を充実してほしい	41	31.5	83	26.2
介護する家族の心身の状態や、健康に関する相談ができる窓口を充実してほしい	24	18.5	44	13.9
介護者相互間の交流を図るなどの、心身の回復を図れる機会を充実してほしい	5	3.8	16	5.0
その他	5	3.8	25	7.9
無回答	33	25.4	61	19.2
回答者数	130	-	317	-

未利用者、居宅利用者ともに「気軽に利用できるショートステイを充実してほしい」、「緊急時にすぐ対応できるような、在宅の介護保険のサービスを充実してほしい」、「家族での介護が難しいので、特別養護老人ホームなど施設を充実してほしい」が多くなっています。

前回のアンケート結果と比較すると同様の傾向ですが、居宅利用者のご家族においては、「気軽に利用できるショートステイを充実してほしい」と回答した方が増え、前回最も多かった「緊急時にすぐ対応できるような、在宅の介護保険のサービスを充実してほしい」を上回っています。